

事業名：江別市史編さん事業

参事（市史・行政資料）

政策	05 豊かさと創造性を育む生涯学習環境の充実								
施策	04 ふるさと意識の醸成と地域文化の創造								
基本事業	03 文化・歴史遺産の保存と継承								
開始年度	平成 7年度	終了年度	—	実施計画 事業認定	対象	会計区分	一般会計	補助金	

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	
市民	
手段（事務事業の内容、やり方）	
<p>『新江別市史』発刊後、次のとおり事業を継続し、江別の歴史に対する関心や理解の促進に資する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ①編さんで使用した資料の整理保存 ②資料のデータベース化と保管 ③販売と在庫管理 ④内容照会への対応、問い合わせの回答 ⑤普及活動 ⑥市史資料の継続的発掘と収集 ⑦市史に関する情報の発信 	
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	
<ul style="list-style-type: none"> ・市民の江別の歴史に対する関心が高まる。 ・市民の江別の歴史に対する理解が深まる。 	

指標・事業費の推移						
区分		単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度当初
対象指標 1	市民	人	121,705	121,385	120,802	120,802
対象指標 2						
活動指標 1	市史資料収集件数及び問合せ件数	件	1,156	1,032	967	—
活動指標 2	「えべつの歴史」発行部数	部	550	500	500	500
成果指標 1	「えべつの歴史」等販売部数	部	211	146	84	215
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	3,889	3,929	4,001	4,047
正職員人件費 (B)		千円	8,026	8,016	7,813	7,824
総事業費 (A + B)		千円	11,915	11,945	11,814	11,871

事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
<p>25年度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市史資料のデータベース化、市史に関する情報の発信、問い合わせへの回答など ・「えべつの歴史」第16号の発刊 ・「えべつの歴史」「新江別市史」等書籍の販売、在庫管理 	<ul style="list-style-type: none"> ・非常勤職員報酬（市史・行政資料担当専門員2名分）3,588千円 ・「えべつの歴史」印刷等 384千円 ・書籍販売手数料 8千円

事業を取り巻く環境変化	
事業開始背景	
平成16年度は、江別の市制施行50周年の節目であり、先史から今日までの足どりを検証し、体系づけ、編さん、刊行することで、ここからの飛躍と市民生活の充実を期するため当事業を開始した。	
事業を取り巻く環境変化	
江別市では市民協働によるまちづくりを目指しており、市民のふるさと意識もより高まっていくものと思われる。	

平成25年度の実績による担当課の評価（平成26年度7月時点）

(1) 税金を使って達成する目的（対象と意図）ですか？市の役割や守備範囲にあった目的ですか？	
妥当である 妥当性が低い	理由 根拠
まちの未来を考える指針とすべく、今日までの江別の歩みを記録に残し、発信することは公共の利益に適い、また、行政でなければ収集・蓄積できない資料もあることから、行政が中心となって行うべきものである。	
(2) 上位の基本事業への貢献度は大きいですか？	
貢献度大きい 貢献度ふつう 貢献度小さい 基礎的事務事業	理由 根拠
収集した記録や資料を「市史」としてまとめ、刊行することで、多くの市民が江別の歩みに親しむことができ、江別に対する認識が深まる。また、まちづくりを考える基礎資料となる。	
(3) 計画どおりに成果は上がっていますか？計画どおりに成果がでている理由、でていない理由は何ですか？	
上がっている どちらかといえば上がっている 上がらない	理由 根拠
「えべつつ歴史」は3月発刊であったため、販売部数は伸びていないが、新たな寄稿者が増えるなど、市史に対する関心の高まりが見られる。	
(4) 成果が向上する余地（可能性）がありますか？その理由は何ですか？	
成果向上余地 大 成果向上余地 中 成果向上余地 小・なし	理由 根拠
市民の江別に対する認識の深化に応え、継続的な資料の収集、研究、発信を進めていくことで、成果が向上する可能性はある。	
(5) 現状の成果を落とさずにコスト（予算+所要時間）を削減する方法はありますか？	
ある なし	理由 根拠
継続的な資料の収集、研究、発信を進めていく上での必要経費であり、最小限の人員と予算で行っているために削減は難しい。	